障害者活躍推進計画実施状況

<table>
<tr><td>機関名</td><td colspan="3">堺市教育委員会</td></tr>
<tr><td>任命権者</td><td colspan="3">堺市教育委員会</td></tr>
<tr><td>評価年度</td><td colspan="3">令和７年度</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目標に対する
達成度</td><td>項　目</td><td>目　標</td><td>実績（達成度）</td></tr>
<tr><td>障害者雇用率</td><td>2.7%以上
(令和７年６月１日)</td><td>2.11%
(令和７年６月１日)</td></tr>
<tr><td>各年度内に採用した
職員の職場定着率</td><td>100%</td><td>81.0%
(令和８年３月31日)</td></tr>
<tr><td>取組内容の
実施状況</td><td colspan="3">○職員の採用
　障害者を対象とした試験区分において、正規職員として令和７年度に学校事務職員１名を任用した。
　また、障害者に職務経験を積む機会を提供し一般企業等への就職につなげることを目的に実施している「堺市チャレンジ雇用」において、会計年度任用職員として令和７年度に20名を採用し、後述の教育委員会版チャレンジオフィスや教育委員会事務局各部署、各学校に配属し、雇用機会の拡充を行った。
○職場環境の整備及び職務の選定
　令和７年６月より、教育委員会版チャレンジオフィスを設置し、個々の障害の特性に応じた職務遂行を支援した。
　事務局にジョブトレーナーを５名配置し、障害のある職員へ助言・指導及び支援を行い、また外部専門機関と適宜連携・相談を行いながら、障害のある職員が職場に適応できるよう継続して配置先へ職務環境の整備の助言・相談対応を実施した。
　職務の選定については、障害のある職員が能力や意欲を発揮できるよう、事前に配置先と調整を行い、障害特性や能力を考慮した業務への配置を行った。また、業務の掘り起こしを行い、職員の能力に応じた職務の確保を行った。
○キャリア形成支援及び常勤職員へのステップアップ
　ジョブトレーナーを中心に、配属先の所属長及び外部専門機関と適宜連携・相談を行いながら、障害のある職員に対する定期的な面談や研修等を通じて、キャリア形成及び常勤職員へのステップアップを支援した。令和７年度においては、民間企業や公的機関への就職の実績があった。</td></tr>
<tr><td>「目標に達する</td><td colspan="3">　実雇用率については法定雇用率（2.70%）を下回った。今後も積極的に</td></tr>
</table>

達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	採用を行い、障害者雇用率の向上を図る必要がある。 　年度内に採用した職員の定着率については、勤務継続が難しく退職に至った事例や就職に伴う退職の事例があり 81.0%となった。引き続き、本人支援のあり方はもちろんのこと、受入れ所属への支援についても適宜見直しを進める必要があると考えている。
計画の見直し・修正	特になし。